

2012年度文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

じぶんに自分で決める日本語学習

まなかたまな
学び方を学ぶためのガイドブック

もくじ 目次

1	自分で決めることはなぜ必要か	2
2	何を決めるのか	5
3	目的をはっきりさせる	7
4	自己評価をする	10
5	近い目標を決める	13
6	リソースを選ぶ	16
7	リソースの使い方を決める	23
8	実行できる計画を立てる	25
9	学習活動の記録を残す	29
10	特に難しいことがあったら...	31

1 自分で決めることはなぜ必要か

この教室は他の日本語教室とは少し違います。この教室のボランティアの人たちは、あなたのために教材を選んだり、学習の方法を決めたりしません。この教室では、あなたが自分の目的に合わせて、自分の好きなリソースを選び、好きな方法で学習することができます。そして、この教室には、あなたが自分の学習計画を作る時に相談できる「アドバイザー」がいます。

私たちは、学習者の人たちが自分の学習について自分で決めることが大切だと考えています。理由はいくつかあります。

まず、あなたのことはあなたがいちばんよく知っているということです。あなたが何のために日本語を勉強したいか、どんな勉強の方法が好きか、1週間に何時間くらい日本語の勉強のために時間を作れるか、いくらぐらいなら本を買うためにお金を使えるか、こういうことをよくわかっていないと、あなたにとっていちばんいい学習の計画は作れません。だから、私たちより、あなたのほうがずっといい計画が作れるはずです。

次に、自分で自分の学習計画が作れるようになれば、学校に行けなくても、日本語教室に行けなくても、日本語の勉強ができるということです。日本に住んでいれば、日常生活の中に日本語の学習の

ざいりょう
材料になるものはたくさんあります。また、インターネットを使え
ば、これまでは「先生」がいなければできなかったことが、自分で
できるようになってきました。それらをうまく利用した計画を作れ
ば、日本語の勉強は「先生」がいなくても続けられます。

そして、自分で決めたことは、人が決めたことよりもやる気をも
ち続けやすいものです。アメリカの心理学者、デシは、やりたいと
いう気持ち（内発的動機）が生まれるためには3つの条件が必要だ
と言っています。それらの条件は、自分で決められること、自分は
できるという気持ち、そして、応援してくれる人、理解してくれる人
がいることです。この教室では、皆さんが自分の日本語学習のプロ
グラムを自分でデザインするのを応援します。そうすることで、こ
れらの3つの条件を作り出すことができるのです。

この教室^{きょうしつ}でできること

- * この教室^{きょうしつ}では、あなたが自分^{じぶん}に合った学習^{がくしゅう}のプログラムを作る^{つく}ために、「アドバイザー」に相談^{そうだん}ができます。
- * 学習計画^{がくしゅうけいかく}を作る道具^{つく}『日本語^{どうご}ポートフォリオ』の使い方^{にほんご}を覚え^{つか}られます。
- * この教室^{きょうしつ}にあるリソースを使^{つか}って、勉強^{べんきょう}をすることができます。

この教室^{きょうしつ}には以下^{い か}のようなものがあります。

教科書^{きょうかしょ}、辞書^{じしよ}、文法書^{ぶんぽうしょ}、日本^{にほん}に関する本^{かん}、まんがや小説^{しょうせつ}、CD

パソコン、インターネット、コピー機^き

目的別^{もくてきべつ}インターネットリソースのリスト等^{など}

- * 会話^{かいわ}の練習^{れんしゅう}をしたい人^{ひと}は「会話^{かいわ}パートナー」と会話^{かいわ}をすることができます。
- * 希望^{きぼう}があれば、勉強^{べんきょう}の仕方^{しかた}についてのワークショップも開^{ひら}く予定^{よてい}です。

2 何を決めるのか

あなたが自分に合った学習の計画を立てるためには、いくつか考えなくてはいけないことがあります。この章では、学習計画を立てるとは何をすることなのか、全体をかんたんに説明します。

【目的をはっきりさせる】

まず、あなたは何のために日本語を勉強したいのか、日本語ができるようになったら何をしたいのか、をはっきりさせましょう。「日本語が上手になりたい」とか「日本語がペラペラになりたい」というのは、目標としては漠然としていて、計画を立てるためにはあまり役にたちません。いい目標の立て方は第3章で紹介します。

【今の自分の能力を知る】

学習の目的は旅行で言えば、目的地のようなものです。目的地がわかったら、次はあなたが今どこにいるかを知ることが大切です。日本語の学習の場合、これは、今、あなたにできることは何かを考えることです。「この本を全部やった」とか「何年間勉強した」とかいうことばでは、何ができるかを知ることにはできません。自分の能力を知る方法は第4章で紹介します。

【近い目標を決める】

目的地がわかって、自分がいまどこにいるかわかったら、旅行が始

められます。今日はどこまで行きますか？どの道を通りますか？昼
ごはんまでにどこまで行きますか？いつ休憩しますか？

日本語の学習でも、最終的な目的だけでなく、近い目標を決める
ことが大切です。近い目標の決め方は第5章で紹介します。

【リソースを選ぶ】

リソースとは、日本語を学ぶための材料と道具です。材料とは、
日本語に関係あるものです。教科書はもちろん材料ですが、街でみ
る看板も、テレビの番組も、日本人の友だちも材料です。道具とは
勉強の助けになるものです。最近パソコン、携帯、スマートフォン、
MP3 プレーヤーなど、新しい道具がたくさんできました。あなた
の目標にあったリソースの選び方は、第6章で紹介します。

【リソースの使い方を決める】

一つのリソースには何種類もの使い方があります。あなたが新しい
使い方を考えることもできます。あなたの目標や好きな勉強の
方法に合わせて、リソースの使い方を決める方法は、第7章で紹介し
ます。

【実行できる計画を立てる】

計画は実行できることが大切です。無理な計画を立てて、実行で
きないと、やる気がなくなってしまう原因になります。日本語の
勉強は、たとえ毎日5分でも続けていくことが大切です。実行でき
る計画の立て方は、第8章で紹介します。

3 もくてき 目的をはっきりさせる

言葉の勉強には時間がかかります。長い間、やる気を持ち続けるには目的が必要です。あなたは日本語が今よりもできるようになったら、何をしたいですか？「人に頼らないで生活ができるようになりたい」とか、「自分の専門を生かした仕事ができるようになりたい」とか、「子どもの学校の先生と子どもの教育のことを話し合えるようになりたい」とか、具体的に考えてください。

もしむずかしかったら、『日本語ポートフォリオ』5ページの「日本に来る前、日本に来てから、そしてこれから」をやってみてください。

例：

	日本に来るまえ	日本に来てから	これからの希望
仕事	教師 	主婦 	英語を教えたい 

私のこと：

	日本に来るまえ	日本に来てから	これからの希望

あなたの生活は日本に来る前と日本に来てから、どのように変わったでしょうか。どこは変わっていないでしょうか。あなたは自分の

せいかつ 生活をこれからどんなふうに変えていきたいですか？

せいかつ 生活といってもいろいろな面があります。しごと かぞく とも しゅみ、
きゅうじつ す すごしかた こ きょういく 子どもの教育などなど、そして、ひと によってはしんこう
せいかつ なか たいせつ ぶぶん も生活の中で大切な部分かもしれません。

れい さんこう 例を参考にして、あなたのせいかつ へんか かんが 生活の変化を考えてみましょう。れい
なつたひと 日本に くる 前はせんせい 先生で、それにまんぞく 満足していました。日本
に きてからはしゅふ 主婦をしていて、すこ ぶまん 少し不満です。これからはえいご 英語を教え
たいとおも っていて、それをたの 樂しみにしています。あなたはどうか？

あなたのせいかつ なか おも そくめん ひだり らん か 生活の中の主な側面を、左の欄に書いてください。そし
て、それがにほん 日本に くる 前はどうかをせつめい 説明するたんご 単語やみじか 短い表現
をとなりのらん 欄に書いてください。そして、あなたがそれについてど
んなきもち を持っていたかを、れい 例のようにかお 顔のマークであらわ 表してくだ
さい。となりのらん 欄には、おな そくめん にほん 日本に きてからはどうなったか
を書いてください。そして、そのとなり らん 隣 欄には、これからそのそくめん 側面を
どのようにしていきたいかを書いてください。(にほんご 日本語で書いても、あ
なたのことば か 言葉で書いてもかまいません。また、もし書きたくないこと、
ほか ひと い 他の人に言いたくないことがあったら、それはか 書かなくてもかま
いません。)

ぜんぶ か 全部書けたら、あなたのこれからのにほんご 日本語のべんきょう 勉強はどんなふう

やく た かんが に ほ ん ご べんきょう もくてき なに
役に立つか考えてください。あなたの日本語の勉強の目的は何か、
まえ せつめい
前よりはっきり説明することができますか？

ドルニエイというハンガリー出身の外国語教育の研究者が、やる
き も つづ ぐたいてき くわ が い こ く ご けんきゅうしゃ
気を持ち続けるためには、具体的に詳しい「外国語ができるように
なった私」のイメージをもつことが大切だと言っています。に ほ ん ご
が い ま
が今よりできるようになって、もくてき たっせい
目的を達成したあなたを想像してみ
てください。

あなたはどこにいますか？そこはどんなところですか？あなたは
なに
何をしていますか？まわ りにどんなひとたちがいますか？その人たちは
なに
何をしていますか？あなたはどんなき も
気持ちですか？

あなたが想像したのは、「に ほ ん ご
あなたが想像したのは、「日本語ができるようになった私」です。
もくてき おも だ そうぞう
あなたの目的をいつでも思い出せるように、想像したことを、
『に ほ ん ご
『日本語ポートフォリオ』6 ページの下にある「日本語がもっとう
まくなったら、したいこと」のしかく なか か
まくなったら、したいこと」の四角の中に書いてください。に ほ ん ご
も、あなたのことば
も、あなたの言葉でもかまいません。

4 今の自分の能力を知る

あなたが目的を達成するための第一歩はどのように踏み出せばいいでしょうか？それを知るために、まず、今のあなたは何かできるかを考えましょう。

あなたの目的を達成するために、聞く、読む、やりとり（会話）、表現（スピーチなど、一人で話す）、書くの5つのスキルの中で必要なものはどれですか。1つ以上、あるかもしれません。もし1つ以上あったら、ここでは練習のために、1つのスキルにしぼって考えましょう。あなたにとっていちばん大切なスキルはどれだと思いますか？

あなたにとって大切な一つのスキルを選べたら、そのスキルを使って何ができるかを考えましょう。『日本語ポートフォリオ』の「日本語でできます」の章をみてください。「聞くこと」は9ページ、「読むこと」は12ページ、「やりとり（会話）」は16ページ、「表現（一人で話す）」は23ページ、「書くこと」は26ページから始まっています。¹

¹ 『日本語ポートフォリオ』は日本に住んで働いたり、主婦をしたりしている人たちのために作りました。もし、あなたが学生で、学校の勉強のために日本語を学びたいのだったら、「日本語でできます」の中に、あなたに必要な「——することができ」はないかもしれませんが、その場合は、『汎用目的のチェックリスト』をみてください。残念ながら、このリストは英語と日本語しかありませんが、学校の勉強のために日本語を学びたい人に必要な「——することができ」も入っています。また、B2より上のレベル（C1、C2）の「——することができ」もあります。

「日本語でできます」には、「私は――をすることができる」という文がたくさんならんでいます。A0 はいちばんやさしく、B2 は『日本語ポートフォリオ』の中ではいちばん難しいレベルです。

あなたにとって大切なスキルの「私は――をすることができる」という文を読んで、一つ一つ、「一人でできる」か「助けてもらえばできる」か、まだできないか考えてください。

ここにある文は少し抽象的なので、具体的な例を考えるといいだろうと思います。例えば、「聞くこと」の A2 に、「日常的なよく知っている話題の会話を理解する」という文があります(10 ページ)。

	ひとり 一人で	たす 助けて もらえば	つぎ もくひょう 次の目標
4	にちじょうてき し わだい かいわ りかい 日常的なよく知っている話題の会話を理解する		

「日常的な」ということは仕事や学校のことではなく、生活や趣味に関係があって、あなたが「よく知っている」話題です。近所のスーパーのセールの話かもしれません。あなたも行ったパーティーについての話かもしれません。あなたがサッカーが好きだったら、サッカーの話かもしれません。

そのことを日本人と日本人が話しているのを聞いて、だいたい内容がわかりますか？ わかったら、「一人でできる」と考えてくだ

さい。話^{はな}している人^{ひと}たちが、あなたのためにゆっくり話^{はな}したり、あなたが知らない言葉^{ことば}を説明^{せつめい}したりしてくれればわかるのだったら、「助^{たす}けてもらえばできる」と考^{かんが}えてください。

あなたが全部^{ぜんぶ}「一人^{ひとり}でできる」レベルはどれですか。まだできないものばかりのレベルはどれですか？全部^{ぜんぶ}「一人^{ひとり}でできる」レベルは、あなたにとってはやさしすぎるレベルです。まだできないものばかりのレベルは、あなたにとってはまだむずかしすぎるレベルです。「一人^{ひとり}でできる」や「助^{たす}けてもらえばできる」がいくつかあるレベルはどこですか？そこがあなたの今^{いま}のレベルです。下^{した}の例^{れい}のように、『日本^{にほんご}語^ごポートフォリオ』6 ページの「私^{わたし}の日本^{にほんご}語^ご」の図^ずのそのレベルに○をつけておいてください。

【例^{れい}】

私^{わたし}の日本^{にほんご}語^ご：

	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2
聞 ^き くこと						
読 ^よ むこと						
やりとり			○			
表 ^{ひょうげん} 現 ^{げん}						
書 ^か くこと						

このレベルの中^{なか}から、あなたの「近^{ちか}い目^{もくひょう}標^{ひょう}」を選^{えら}びましよう。近^{ちか}い目^{もくひょう}標^{ひょう}の選^{えら}び方^{かた}は、次^{つぎ}の章^{しょう}で説^{せつめい}明^{めい}します。

5 近い目標を決める

第3章であなたが日本語を学ぶ目的を考えましたが、あなたの目的はたぶん来週とか来月に達成できるようなものではないだろうと思います。場合によっては目的を達成するまでに何年かかるかもしれません。もし目的だけしか考えなかったら、とちゅうでやめたくなってしまうかもしれません。毎日、毎週、やった！という気持ちをもてることが、やる気を長続きさせるためには大切です。そのためには最終的な目的だけでなく、近い目標も決めましょう。

近い目標はどのように決めたらいいでしょうか。第4章で、あなたにとって大切なスキルを選んで、あなたはそのスキルのどのレベルにいるかを確かめました。もう一度、あなたのレベルの「私は一—することができ」という文を見てください。あなたがまだできないこと、助けてもらえればできることのうち、次にできるようにしたいことはどれですか？できないことが助けてもらえればできるようになるのでも、助けてもらえればできることが一人でできるようになるのでもかまいません。あなたの生活の中でいちばん必要なものを選んでもいいし、すぐにできるようになりそうなかんたんなことから選んでも、いちばん楽しそうなことを選んでもかまいません。

ここでも、書いてある文よりは具体的な行動を考えましょう。例

えば、第4章の例のように、「日常的なよく知っている話題の会話を理解する」という文（10 ページ）だったら、あなたの生活や趣味の中であなたが「よく知っている」具体的な話題を考えてください。近所のスーパーのセールの話でも、あなたが行ったパーティーの話でも、サッカーの話でもかまいません。そして、その話を誰とするのかも考えてください。近い目標は、〇〇さんと話す時に、スーパーのセールの話がわかるようになる、パーティーの話がわかるようになる、サッカーの話がわかるようになる、というように、あなたの生活の中の具体的な行動を選んでください。

次にこの目標を達成するのにどのくらい時間がかかるかを考えて、締め切りを考えてください。やってみなければわからないかもしれないかもしれません。締め切りは後で変えてもかまわないので、だいたいどのくらいでできるかを考えて、締め切りを決めてください。

次の目標と締め切りが決まったら、選んだ文の右側にある「次の目標」の欄に、下の例のように締め切りの日付を書いてください。

例)

	ひとり 一人で	たす 助けて もらえば	つぎ もくひょう 次の目標
4	にちじょうてき し わだい かいわ りかい 日常的なよく知っている話題の会話を理解する		2012/12/10

次の目標が決まったら、次はその目標を達成するために何を使って、どんなふうに勉強すればいいかを考えてください。第6章では、

「何^{なに}を」を、第7章では「どんなふう^{だい しゅう}に」を決^きめるにはどうしたら
いいかを説^{せつ}明^{めい}します。

6 リソースを選ぶ

リソースとは、あなたが日本語の学習のために使えるものすべてです。日本語の学習のために作った教科書や辞書はもちろん、街で見える看板も、テレビの天気予報も、パソコンも、日本人の同僚も、日本のことについて教えてくれる同じ国出身の友だちも、みんなリソースです。この教室にいる会話パートナーの人たちもリソースです。

リソースを選ぶ時には、まず、あなたが近い目標に選んだ行動をするために、今、何が足りないのか考えてください。必要な単語を知らないから難しいのかもしれませんが。慣れていないだけで、何回も練習すればできるようになるのかもしれませんが。日本人がふつうどんなことをどんな順番で言っているのか知らないだけで、それがわかれば同じようにできるのかもしれませんが。あなたが、目標の行動をするのが難しい原因がわかったら、その原因をなくすにはどんなリソースが役に立つかを考えてください。例えば、スーパーのセールのお話をわからないのが、単語を知らないからだったら、セールに関係ある単語が書いてあるものが役に立ちますね。

必要なリソースがどんなものかがわかったら、それをどうやって手に入れるかを考えましょう。ここでは、日本語の学習のために作ったリソースと、そうではないリソースに分けて、あなたの近い

もくひょう あ 目標に合ったリソースを探^{さが}すためにはどうしたらいいかを説明^{せつめい}します。

【日本語の学習のために作ったリソース】

日本語の学習のために作ったリソースには、教科書、それに^{きょうかしょ}ついて^{にほんご}いる CD、辞書、文法書、インターネットの日本語学習サイト、スマートフォンのアプリなどがあります。日本で作られたリソースは、残念なことに、表紙が日本語で、日本語がわからないと、何のために作られた本なのかわからないことも多いです。

この日本語教室では、皆さんが自分に必要なリソースを自分で選ぶのを手伝いするために、本の背表紙にシールを貼りました。本の^{ほん}上のほうのシールは、その本の説明がどんな言語で書いてあるかを^{ほん}示しています。下のほうのシールは、その本が何を勉強するのに役に立つかを示しています。（詳しくは教室にある説明を見てください。）

言語別



言語技能

セールについて話^{はな}す時^{とき}の単語^{たんご}を知^しりたい場合は、単語^{たんご}を覚^ぼえるた

めに作ったリソースの目次を見てください。セールに關係のある単語が載っているような章はありますか？あったら、その章を見てください。教科書は第一課から順番にすべてをやっていく必要はありません。あなたが勉強したいことが載っているところだけやっても構いません。

インターネットの日本語学習サイトや、スマートフォンのアプリの使い方も同じです。あなたが近い目標を達成するのに役に立ちそうなものを探してください。皆さんが時間を節約できるように、この日本語教室のパソコンには、「ーすることができます」の文それぞれに關係ある日本語学習サイトや、その他のサイトのリストを用意する予定です。

【日本語の学習のために作ったのではないリソース】

日本語が使っているものは全部リソースです。例えば、スーパーのセールの言葉だったら、スーパーのホームページも、スーパーの中の掲示やアナウンスもリソースです。「〇〇って、日本語ではなんていうの？」と質問することができる友だちもリソースです。

日本語の学習のために作ったのではないリソースを探すためには、あなたの日常生活の中で、あなたの近い目標と關係があることばを使ってある物はどこにあるかを考えてください。（ヒントが必要だったら、『日本語ポートフォリオ』33ページの「日本語を覚え

たり、練習したりするチャンス」をやってみてください。)

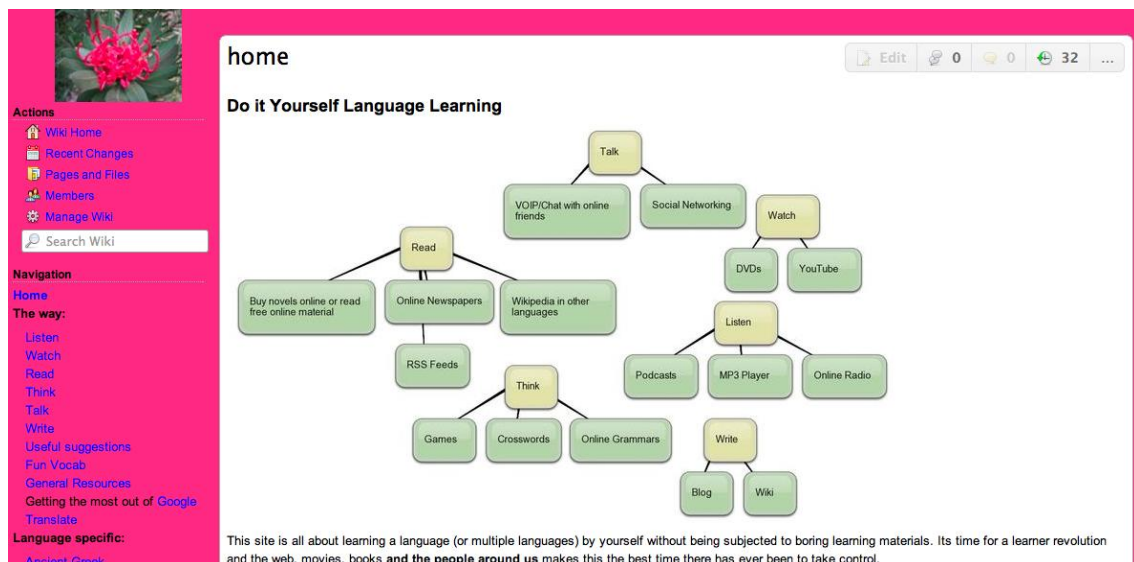
＜日本語を覚えたり、練習したりするチャンス＞

場所	なにを？ どうやって？
例： 家で	天気予報のことば。毎日テレビの天気予報を見る。 聞き取れた部分を繰り返す。
家で	
店で	
道で	
電車やバスで	
仕事で／学校で	

また、以下は、^{い か}学習^{がくしゅう}のために^{つく}作ったのではないリソースにはどんなものがあるかを^{せつめい}説明したホームページです。

Do it Yourself Language Learning

<http://dzyanna.wikispaces.com/home>



このページは^{えいご}英語ですが、^{ちゅうごくご}中国語や^{ベトナム語}ベトナム語に^{ほんやく}翻訳するには、Lexilogos（レキシロゴス）というサイトの Web Page Translation（ウェブ・ページ^{ほんやく}翻訳）というページが^{べんり}便利です。URL は以下です。

http://www.lexilogos.com/english/translation_page.htm

^{つぎ}次のページにこのサイトのスクリーン・ショットがあります。その中の、^{ひだりがわ}左側に^{あか}赤いバツのある、^{なが}長い四角の^{なか}中に^{ほんやく}翻訳したいページの URL を^{にゅうりょく}入力し、Google のメニューの中から English > Chinese または、English > Vietnamese を^{えら}選んでクリックしてください。

<Lexilogos のページ>

English > Vietnamese は、この図では見えません。下のほうにあります。



Web page translation



text translation

Online Translator

translation is very approximative: it's only a basic help which needs to correct the result.

translation English <> Arabic, Bulgarian, Catalan, Chinese, Croatian, Czech, Danish, Dutch, Finnish, French, German, Greek, Hebrew, Hindi, Italian, Indonesian, Japanese, Korean, Latvian, Lithuanian, Norwegian, Persian, Polish, Portuguese, Romanian, Russian, Serbian, Slovak, Slovenian, Spanish, Swedish, Tagalog, Ukrainian, Vietnamese



http://tzyanna.wikispaces.com/home

• Google

English > Arabic
English > Bulgarian
English > Catalan
English > Chinese
English > Chinese trad.

Arabic > English
Bulgarian > English
Catalan > English
Chinese > English
Chinese trad. > English

other choices:

page written in

French

<中国語になりました>

Translate

From: English To: Chinese (Simplified)

View: Translation Original

欢迎。了解更多关于什么Wikispaces提供的。

Games Crosswords Online Grammars Write Blog Wiki

这个网站是有关于学习一门语言（多国语言），自己没有受到枯燥的学习材料。它的时间为一个学习的革命和网络，电影，书籍和我们周围的人，这是最好的时候有过控制。

我的“系统”是如下所示：

往往有很多的语言，你已经知道，它只是一个学习如何发现问题。要做到这一点，你需要：

- 了解如何写字母的语言
- 了解如何识别进口从其他语言的话。对于印欧语言学会发现共同发展的话（也被称为同源）
- 听大量的音乐和广播的语言，使挑选出来的话，你已经知道的游戏

- 学习一些基本的短语和单词，让你开始，但要确保它只是基础知识（来源短语书，YouTube视频或在线卡工具 - 最好是有声）
- 开始阅读报纸，网上的文章（不要试图听懂每个单词，只需要点，但使用谷歌翻译，如果你是真的很好奇的东西）
- 开始使用您的基本短语的人，你知道谁是母语或第二语言的语言发言。即使学习者的语言可以与大家分享他们所知道的。如果你犯了一个错误，那么只是耸耸肩。如果你可以尝试来庆祝自己的错误，并记住他们，所以你可以告诉其他学生，让他们感觉更好地了解自己的学习冒险。
- 练习你所知道的行动的情况下 - 你会怎么说，如果你遇到一个人，或想找到厕所。开始用简单的句子，你已经知道的单词的基础上，添加一对夫妇的话，在一个时间来建立更复杂的句子结构。尝试使用相关的手势和情绪，以有趣的方式，真正采取行动。

<ベトナム語になりました>

Translate

From: English To: Vietnamese

View: Translation Original

Chào mừng bạn Tìm hiểu thêm về những gì Wikispaces cung cấp .

Fun vocab

Tổng Tài nguyên

Nhận được nhiều nhất của Google Translate

Ngôn ngữ cụ thể:

Hy Lạp cổ đại

Comish

Đan Mạch

Trắng Faroe

Đức

Trắng Hi Lạp (Modern)

Hungary

Thuộc về đảo Iceland

Nhật Bản

Maya

Na Uy

Trắng Anh

Old Norse

Nga

Tây Ban Nha

Thụy Điển

Ukraine

Blog

Wiki

Trang web này là tất cả về học một ngôn ngữ (hoặc nhiều ngôn ngữ) của mình mà không bị vật liệu nhàm chán học. Thời gian của mình cho một cuộc cách mạng của học viên và trang web, phim ảnh, sách **và những người xung quanh chúng ta** làm cho thời gian này, tốt nhất đã từng có được kiểm soát.

"Hệ thống" như sau:

Thường có rất nhiều ngôn ngữ mà bạn đã biết và vấn đề chỉ là một học làm thế nào để phát hiện. Để làm điều này bạn cần phải:

- Tìm hiểu các chữ cái của ngôn ngữ được viết như thế nào
- Tìm hiểu làm thế nào để xác định từ nhập khẩu từ các ngôn ngữ khác. Đối với các ngôn ngữ Ấn-Âu học để phát hiện những từ thường được phát triển (hay còn gọi là cùng nguồn gốc)
- Nghe rất nhiều âm nhạc và chương trình phát sóng trong ngôn ngữ, làm cho một trò chơi chọn ra những từ bạn đã biết

1. Tìm hiểu một vài cụm từ cơ bản và vocab để bạn bắt đầu nhưng chắc chắn rằng nó chỉ là những điều cơ bản (nguồn từ sách cụm từ, youtube video hoặc công cụ flash trực tuyến bằng thẻ - tốt với âm thanh)
2. Bắt đầu đọc: báo chí, bài báo trực tuyến (không cố gắng hiểu mỗi từ, chỉ những điểm chính mà sử dụng google dịch nếu bạn đang thực sự tò mò về một cái gì đó)
3. Bắt đầu bằng cách sử dụng các cụm từ cơ bản của bạn về những người bạn biết là những người nói các ngôn ngữ bản địa hoặc tốt thứ hai của ngôn ngữ. Ngay cả người học của ngôn ngữ có thể chia sẻ với bạn những gì họ biết. Nếu bạn thực hiện một sai lầm sau đó chỉ cần nhún vai. Nếu bạn có thể cố gắng để kỷ niệm những sai lầm của bạn và ghi nhớ chúng, do đó bạn có thể nói với các học viên khác sau đó và làm cho họ cảm thấy tốt hơn về cuộc

7 リソースの使い方^{つか かた き}を決める

リソースが^み見つかったら、それをどんなふう^{つか}に使うかを^{かんが}考えてください。^{ひと}一つのリソースでもいろいろな^{つか かた}使い方があります。例えば、あなたの^{ちか}近い^{もくひょう}目標が^{じ こしょうかい}自己紹介ができるようになることだとします。ある^{きょうかしょ}教科書の中に^{なか}自己紹介^{じ こしょうかい}の^{かいわぶん}会話文がありました。あなた^{かいわぶん}だったら、この^{かいわぶん}会話文をどんなふう^{つか}に^{つか}使いますか？

^{かいわぶん}会話文を^{こえ}声に出して^だ読む^よ人も^{ひと}いるかもしれません。^{きょうかしょ}教科書についている CD を iPod に^{コピー}して、^{つうきん}通勤の^{でんしゃ}電車の中で^{なか}聞く^き人も^{ひと}いるかもしれません。^{かいわぶん}会話文を^{さんこう}参考にして、^{じぶん}自分の^{じ こしょうかい}自己紹介を^か書く^{ひと}人も^{ひと}いるかもしれません。これらの^{かつどう}活動は^{ぜんぶ}全部^{やく}役に^た立ちます。

リソースの^{つか かた き}使い方^{とき}を決める^{たいせつ}時にはいくつか大切なことがあります。まず、あなたの^{もくひょう}目標の^{おな}スキルと同じことをやったほうが^{たぶん}いいということ。つまり、^{もくひょう}目標の^{はな}スキルが^{はな}話すこと^{がくしゅうかつどう}だったら、^{がくしゅうかつどう}学習活動にも^{はな}話すことを^と取り入れた^いほうが^{いい}いいということです。^{でんしゃ}電車の中で iPod で^{かいわ}会話を^き聞いたら、^{ひとり}一人の^{とき}時にもう^{いちど}一度^き聞いて、^く繰り返して^{かえ}言^いってみるといいかもしれません。

次に、^{つぎ}同じことを^{おな}何回か^{なんかい}繰り返した^くほうが^{かえ}いいということ。^{ことば}言葉の^{べんきょう}勉強は、^{がっき}スポーツや^{れんしゅう}楽器の^{おな}練習と同じです。^{おな}同じことを^く繰り返して^{かえ}いるうちに、^{じょうず}だんだん上手になっていくものです。

そして、自分で思い出す練習も大切です。例えば、会話文を見ながら読めるようになったら、次は見ないで言えるかどうか確かめてみましょう。お風呂の中で、会話文を思い出して言うてみてもいいかもしれません。

最後に、自分の好きな勉強の仕方と合った方法を選ぶことも大切です。例えば、最初に規則がわかったほうが勉強がしやすいと思う人もいます。それとは逆に、規則よりは実際にやってみたいと思う人もいます。何かを覚える時でも、聞いたことのほうが覚えやすい人もいるし、文字を見たほうが覚えられる人もいます。書いたほうが覚えられる人もいます。一人で自分のペースで勉強したい人も、友だちと一緒に勉強したい人もいます。これらはどちらが正しく、どちらが間違っているというものではありません。大切なことは、あなたに合った勉強の仕方を選ぶことです。(あなたに合った学習の方法を見つけるヒントが必要な人は、『日本語ポートフォリオ』の34 ページから 36 ページを見てください。)

以上を参考にして、あなたの目標と、あなたの好きな勉強の仕方、あなたの生活のパターンに合ったリソースの使い方を考えてください。

どんなリソースを使って、どんな学習活動をするか決めたら、『日本語ポートフォリオ』31 ページの「近い目標」にあなたの計画を書いてください。

8 実行できる計画を立てる

第5章で、近い目標を選んで、それを達成する締め切りを決めました。第6章では、目標を達成するために使うリソースを選びました。そして第7章では、そのリソースをどのように使うかも考えました。これで、計画は完成ですが、この計画は無理なく実行できるでしょうか？ 計画は実行することが大切です。1日に5分でもいいので、計画通りに実行していけば、達成感を味わえますし、少しずつでも着実に進歩すれば、自信もつきます。

あなたの計画が実行可能かどうかを確かめるために、以下のことを考えてください。

あなたは、一週間のうちのいつこの学習活動をする予定ですか。毎日やりますか？ 月曜日から金曜日にやりますか？ それとも、土曜日と日曜日だけやりますか？

一日のうちのいつやりますか？ 朝起きてすぐですか？ 昼休みですか？ 夜、寝る前ですか？

どこでやりますか。家でやりますか？ 電車の中でやりますか？ 会社でやりますか？ 日本語教室でやりますか？

どのくらいの時間^{じかん}やりますか？5分^{ふん}？10分^{ぶん}？1時間^{じかん}？

一人でやりますか？誰^{だれ}かと一緒に^{いっしょ}やりますか？一緒に^{いっしょ}やりたい人^{ひと}がいたら、あなたの計画^{けいかく}はその人の都合^{ひと つごう}にあっているでしょうか？

上の質問^{うえ しつもん}の答え^{こた}を、第7章^{だい しやう}の終わり^おに書いた「私の目標^{わたし もくひよう}」(『日本語ポートフォリオ』31ページ)に書^かきたしてください。

例えば、次のページ^{つぎ}の例^{れい}では、友だち^{とも}とレストラン^いに行けるのは5月17日^{がつ にち}だということがわかりました。ですから、食べた料理^{た りやうり}の名前^{なまえ}をメモするのにも17日^{にち}です。数^{かず}の言い方^{い かた}を書いて冷蔵庫^{れいぞうこ}のドア^かに貼^はるのは、今日^{きょう}できます。そして、今日^{きょう}から、料理^{りやうり}をする時^{とき}などに、その紙^{かみ}を見て、数^{かず}の言い方^{い かた}を覚え^{おぼ}ます。日本語教室^{にほんごきょうしつ}で、ウェイター^{かみ}はどんな言葉^{ことば}を使うか質問^{つか しつもん}するのは、来週^{らいしゅう}の教室^{きょうしつ}の時^{とき}にします。来週^{らいしゅう}の日本語教室^{にほんごきょうしつ}は5月19日^{がつ にち}です。次にレストラン^{つぎ}に行けるのは、5月25日^{がつ にち}です。レストラン^いに行って、食べたい料理^{た りやうり}が注文^{ちゅうもん}できるかどうか確か^{たし}めるのは25日^{にち}までできません。ですから、目標達成^{もくひようたっせい}の締め切り^{し き}は、5月19日^{がつ にち}ではなくて、5月25日^{がつ にち}に変^かえます。来週^{らいしゅう}の日本語教室^{にほんごきょうしつ}でウェイター^{つか}の使う言葉^{ことば}を教え^{おし}てもらったら、25日^{にち}まで毎日^{まいにち}、夜^{よる}、家^{いえ}で、10分^{ぷん}ぐらい、注文^{ちゅうもん}する時^{とき}言うことを何^{なん}度も言^いって練習^{れんしゅう}します。

< 計画を変える >

例：

日づけ	2006年5月12日
できるようになりたいこと	レストランで料理を注文する
できるようになるためにすること	日本語のできる友だちとレストランに行き、友だちを観察する。 5/17 食べた料理の名前をメモする。 5/17 数の言い方を書いて、冷蔵庫のドアにはって覚える。 5/12- りょうり 料理をする時など 日本語教室で、ウェイターはどんな言葉を使うか質問する。 5/19 レストランに行く前に、注文する時言うことを、何度も言っ て練習する。 5/19~5/25 夜、家で。毎日10分ぐらい。
できるようになったか、 どうしたらわかりますか	レストランに行き、注文して、食べたい料理が出てきたら。 5/25
いつまでにできるよう になりますか	2006年5月19日 2006年5月25日
できるようになりましたか	----- ----- まったくだめ まあまあ かんぺき

「私の目標」や、第5章の終わりに『日本語ポートフォリオ』の「日本語でできます」に書いた、次の目標の締め切り日など、変えたいところはありませんか？

「私の目標」は、『日本語ポートフォリオ』の後ろにあるポケットに入れて、締め切りの日がきたら、どのくらいできるようになったか、いちばん下の欄に書いてください。この紙がふえていくと、自分

がどれだけ進歩^{しんぽ}したかわかります。進歩^{しんぽ}したことがわかると、もっと勉強^{べんきょう}したくなるものです。「私^{わたし}の目標^{もくひょう}」の紙^{かみ}は、大切にファイル^{たいせつ}してくださいね。

9 ^{がくしゅうかつどう} 学習活動の記録を残す

^{だい しょう} 第8章で、皆さんは無理しないで実行できる計画を作りました。これから
^{けいかく} いよいよ計画にしたがって、^{がくしゅうかつどう} 学習活動を始めますが、^{けいかく} 計画がうまく進んでい
^{たし} るかどうか確かめるためには記録が必要です。^{きろく} 記録があれば、しばらく^{あと}後で
それを見直して、必要なら計画を変えることもできます。

^{みな} 皆さんが^{がくしゅう} 学習の^{きろく} 記録を残したり、^{がくしゅうかつどう} 学習活動を^ふ 振り返ったりする道具として、
『^{にほんご} 日本語ポートフォリオ』には「^{がくしゅうにつぎ} 学習日記」があります。32 ページを見てください。

この日記には、^{むつ} 6つの質問があります。^{さいしょ} 最初の3つは、あなたの^{つぎ} 次の^{もくひょう} 目標
についてです。あなたの^た 立てた^{がくしゅうけいかく} 学習計画はうまく行っているかどうか、それ
はなぜかを書いてください。また、^か むずかしいことやわからないことがあったら、
それも^か 書いてください。アドバイザーへの^{しつもん} 質問を書いてもいいです。アドバイ
ザーはみなさんの^{がくしゅうにつぎ} 学習日記を見て、^み 質問があれば、^{へんじ} 返事を^か 書きます。

^{よつ} 4つめの質問は、あなたが、^{ちか} 近い^{もくひょう} 目標の^{がくしゅうけいかく} 学習計画以外に、^{しゅうかん} 1週間の^{あいだ} 間
にやったことについてです。^{せいかつ} 生活の中で^{なか} 覚えた^{おぼ} 言葉、^{ことば} 新しく^{あた} できるようにな
ったことなどを書いてください。

^{いつ} 5つめの質問は、今日、^{しつもん} 日本語教室で^{きょう} やった^{にほんごきょうしつ} ことです。アドバイザーと^{はな} 話
した^{がくしゅうかつどう} こと、^か 学習活動として^か やったことなどを書いてください。

6つめの質問は、来週、日本語教室で何をする予定かを書いてください。
どんな学習活動をするか、そのために家から持ってくる必要のあるものは
何かなどを書いてください。また、アドバイザーと話したいことを書いてもいい
です。

毎回の教室の終わりに 10分程度、日記を書く時間を残してください。
日記は日本語で書いても、あなたの言葉で書いても大丈夫です。(アドバイ
ザーへの質問は、日本語で書いてくださいね。)

この日本語教室が終わる 1月の終わりには、あなたの学習日記は
10枚になります。それを見るだけでも、たくさん勉強したことがわ
かって、きっといい気持ちになるだろうと思います。「学習日記」
も大切にファイルしてください。

10 特^{とく}に難^{むずか}しいことがあったら...

日本語^{にほんご}の学^{がく}習^{しゅう}はいつでも順^{じゆん}調^{ちよう}に進^{すす}むわけではありません。勉強^{べんきよう}しているうちに、何^{なに}か難^{むずか}しいことに出^で会^あうこともあります。学^{がく}習^{しゅう}者^{しゃ}の^{ひと}人^{ひと}たちからよく聞^きく話^{はなし}には、どうしてもできない発^{はつ}音^{おん}がある、漢^{かん}字^じが覚^{おぼ}えられない、勉強^{べんきよう}しているのに話^{はな}せるようにならない、読^よむのが遅^{おそ}い、などがあります。

こうした問^{もん}題^{だい}を解^{かい}決^{けつ}する方^{ほう}法^{ほう}はいくつかあります。

まず、日本語^{にほんご}が上^{じよう}手^ずになった人^{ひと}に、その人^{ひと}はどうしたかを聞^きいてみるのもいいかもしれません。その人^{ひと}のやり方^{かた}があなたに合^あっているとおもったら、試^{ため}してみてください。

この教^{きよう}室^{しつ}では皆^{みな}さんが、問^{もん}題^{だい}の原^{げん}因^{いん}と解^{かい}決^{けつ}法^{ほう}を見^みつけられるように、問^{もん}題^{だい}ご^{ごと}にパンフレットをつく^{つく}よてい^{よてい}です。また、皆^{みな}さんの希^き望^{ぼう}があれば、問^{もん}題^{だい}の解^{かい}決^{けつ}方^{ほう}法^{ほう}についてワークショップも^{おこな}行^{おこな}います。あなたにとって、どんなことが問^{もん}題^{だい}か、ア^{おし}ド^{おし}バイ^{おし}ザーに教^{おし}えてください。

最^{さい}後^ごに、外^{がい}国^{こく}語^ごの勉^{べん}強^{きよう}のしかたについての本^{ほん}を^よ読^よんでみるのもいいかもしれません。例^{たと}え^えば、以^い下^かのよ^ような本^{ほん}が役^{やく}に立^たつかもしれません。日^に本^{ほん}語^ごですが、もし、日^に本^{ほん}語^ご学^{がく}習^{しゅう}用^{よう}の教^{きよう}科^か書^{しょ}ではなく、ふつ

うの本^{ほん}を^よ読んで^{おも}みたいと思^{おも}っていたら、こんな本^{ほん}を^{ため}試^{ため}してみてもいいか^{いい}もしれません。



ジョーアン・ルービン、アイリーン・トンプソン『外^{がい}

国語^{こくご}の^{こう}効果^{かてき}的な^{まな}学^{かた}び方^{たいしゅうかんしよてん}』大修館書店



竹内^{たけうち}理^{おさむ}『「達人」^{たつじん}の^{えいご}英語^{がくしゅうほう}学^{データ}習^{かた}法^{こう}—データが^{かた}語^{こう}る効

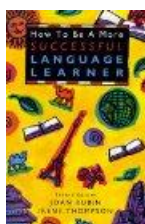
果^か的^{てき}な^{がいこくご}外^ご国^{しゅうとく}語^{ほう}習^{そう}得^し法^{しゃ}とは』草思社

あなたの得意^{とくい}な^{ことば}言^{おな}葉^{ほん}でも同^{どう}じよ^なうな^{ほん}本^たが^とあ^とる^とか^とも^とし^とれ^とま^とせ^とん。例

え^うば、上^うに^あ挙^あげ^あた^あ『外^{がいこくご}国^{こう}語^{かてき}の^{まな}効果^{かた}的^{えいご}な^か学^かび^か方^か』は、も^{えいご}と^かは^か英^{えいご}語^かで^か書^か

か^{ほん}れた^{ちゅうごくご}本^{ほん}で^{ほん}す。中^{ちゅうごくご}国^{ほん}語^{やく}に^{さんねん}も^{さんねん}翻^{さんねん}訳^{さんねん}さ^{さんねん}れ^{さんねん}て^{さんねん}い^{さんねん}ま^{さんねん}す。残^{さんねん}念^{さんねん}な^{さんねん}が^{さんねん}ら、ベ^{さんねん}ト^{さんねん}ナ^{さんねん}

ム^ご語^{ほん}の^{やく}翻^み訳^みは^み見^みつ^みけ^みら^みれ^みま^みせ^みん^みで^みし^みた^みが^み...。



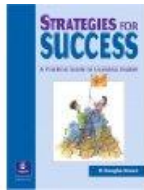
Joan Rubin & Irene Thompson (1994). *How to be a more successful language learner: Toward learner autonomy* (2nd ed.). Boston, MA: Heinle & Heinle Publishers.



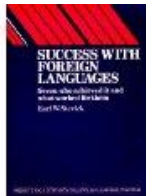
鲁宾(Rubin, J.) 汤普森(Thompson, I)(2004). 『怎样成为

更加成功的语言学习者』北京：外语教学与研究出版社

他にこんな本もあります。英語の学習について書いてある本もありますが、外国語の学習という点では、皆さんが日本語を学ぶのと同じにしているところがたくさんあります。よかったら参考にしてください。



H. Douglas Brown (2001). *Strategies for success*. Harlow: Pearson Education.



E. W. Stevick (1989). *Success with foreign languages: Seven who achieved it and what worked for them*. New York: Prentice Hall.

(この本は、以下のサイトに本全部の pdf ファイルがあります。

<http://www.sil.org/lingualinks/languagelearning/booksbackinprint/successwithforeignlanguages/success.pdf>)



王初明 (2010). 《外语是怎样学会的》外语教学与研究出版社



徐火辉、徐海天 (2011).《中国人英语自学方法教程
(完全版)》中国金融出版社



潘亚玲 (2011).《外语学习策略与方法》外语教学与研究出版社

=====

2012 年度文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

自分で決める日本語学習 学び方を学ぶためのガイドブック

執筆：青木直子

翻訳：ジョー・ラムリー（英語）

栄苗苗、欧麗賢（中国語）

ヴ・ティ・トゥ・タオ、北山夏季（ベトナム語）

発行：兵庫日本語ボランティアネットワーク

発行日：2012 年 11 月 5 日

=====